

2018 年 9 月 19 日

報道関係者各位

加賀電子株式会社
(東証 1 部 : 8154)

クラウドと連携した園児向けマット型 IoT センサーの販売開始

～リアルタイムで異変を検知。午睡の安全対策を強化し、保育士の心理的負担を軽減～

加賀電子株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：門 良一、以下、当社）は、ソフトバンクグループで保育クラウドサービス「hugmo（ハグモー）」を提供する株式会社 hugmo（本社：東京都港区、代表取締役社長：湯浅 重数）と株式会社バイオシルバー（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：原田敬三、以下「バイオシルバー」）が開発したマット型 IoT センサーを、総販売店として 2018 年 10 月 1 日より販売開始いたします。

今回販売するマット型 IoT センサーは、株式会社 hugmo が提供する保育クラウドサービス「hugmo」の新サービスである「hugsafety（ハグセーフティー）」に対応したセンサーです。「hugsafety」は、マット型 IoT センサーと、「hugmo」の連絡帳サービス「hugnote（ハグノート）」アプリを連携させて提供するサービスで、スマートフォンやタブレットなどで園児の睡眠中の呼吸の状態を一覧で表示します。マット型 IoT センサーで検知した呼吸や心拍の状態は、Wi-Fi 接続を通じて自動的にクラウドにアップロードされ、「hugnote」アプリで確認することができます。異変を検知した場合は、アプリの表示と音でアラートを通知するため、いち早く園児の状態を確認することができます。また、マット型 IoT センサーは、敷き布団の下に敷いた状態での使用が可能で、直接肌に触れない為、衛生的です。

<マット型 IoT センサー（バイオシルバー製）イメージ>



<マット型 IoT センサーの主な特長>

- ・布団やマットレスの下に設置するだけ（コットベットにも対応）
- ・体に直接触れないため衛生的
- ・呼吸の異変を検知した場合にアプリの表示と音でアラートを通知
- ・エア式センサーを 8 本搭載することにより、微細な生体情報も検知
- ・モバイルバッテリー搭載によりコードレスで使用可能
- ・クラウドとマット型 IoT センサーは、Wi-Fi により安定して接続
- ・医療機器（クラス I）として届出予定

保育園では午睡中の安全対策のため、保育士が数分ごとに園児の状態を確認してチェックシートに記入する午睡チェックをしています。睡眠中の安全対策をする上で特に重要なのは呼吸の異変を検知することであり、本製品は、保育園で実証実験を実施し、保育士の意見を採用しながら開発されました。

厚生労働省は、保育園への監視モニターやベビーセンサーなどの設備導入を促進し、保育士による午睡チェックを補強することを掲げて、2018年4月から「保育園等におけるICT化推進等事業（事故防止対策分）」として市区町村が補助金を交付するための交付金を交付しています。

今回販売するマット型IoTセンサーと株式会社 hugmo が提供するIoTを活用した見守りサービス「hugsafety」は、保育園が補助金で導入できるようにサービス設計されています。マット型センサーの提供により、「hugsafety」とともに園児の午睡の安全対策強化と保育士の心理負担を軽減することを目指します。

※本製品は保育従事者の業務を補助するものであり、置き換えることを目的としたものではありません。また、診断などを行う医療機器ではありません。

<料金の例>

1. マット型IoTセンサー参考価格

一括購入プラン：1台あたり11万8,000円

リースプラン：1台あたり月額2,200円～（5年リースの場合）

2. 「hugsafety」クラウド利用料（提供元：株式会社 hugmo）

初期費用：1施設につき3万円

月額料金：1施設につき1万5,000円

※ 月額料金には、モバイルWi-Fiルーターのレンタル費用が含まれます。

- Wi-Fi は、WiFi Alliance の登録商標です。
- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

加賀電子株式会社

〒101-8628 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0116 FAX:03-3254-7141

担当：特販事業部 社会福祉・介護プロジェクト 川畑 拓司

E-Mail：kawabata@taxan.co.jp